

令和２年度 第１回 大垣市障がい者の暮らしを支える協議会 議事要旨

令和２年６月２２日（月）

１３：３０～１４：２０

大垣市役所８階 大会議室

出席者：２５名 欠席者：２名

- １ 健康福祉部長あいさつ
- ２ 令和２年度 大垣市障がい者の暮らしを支える協議会 各部会の開催計画（案）について（各部会長より説明）
→別紙資料１による
・第１回は新型コロナウイルスに関する書面会議を全部会にて実施予定
- ３ 障害者就労施設等からの物品等の調達について（事務局より説明）
→別紙資料２による
・大幅な増加はふるさと納税制度における、市外の寄付者への返礼品としての物品の購入が増えたもの。
- ４ 令和元年度合理的配慮事例の報告について（事務局より説明）
→別紙資料３による
・市役所における合理的配慮事例を定期的に収集し、情報共有することで、市民サービスに反映させていく。
- ５ 第三次障害者計画及び第５期障害福祉計画・第１期障害児福祉計画の事業実績及び事業計画について（事務局より説明）
→資料４－１、４－２、４－３による

【質疑】

＜大垣市第５期障害福祉計画・第１期障害児福祉計画＞

- ・令和元年度事業実績・令和２年度事業計画一覧表 ８ページ ４１保育所等訪問支援が、５０％未満（■）の進捗状況である。その原因は何か。市において、「気になる子」は多いと思われる。
- 保育所等訪問支援は事業所が保育園等を訪問して行う事業である。
大垣市においては、子育て支援課発達支援グループが保育園等から相談があれば、作

業療法士が訪問し子どもや保育士らを支援している。また、5歳児の保護者を対象にアンケートを実施し、保健センター、保育課と連携し相談事や悩みに対応をしているなど、市で訪問支援を実施している。

実績としては、園への巡回訪問：市内の合計 28 園 45 名

5歳すこやか相談：市内の全園 1,218 人